

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	経営システム科学論		
科目基礎情報							
科目番号	0142		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	国際ビジネス学専攻		対象学年	専2			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	村山 雅子						
到達目標							
経営科学における基礎科目となる統計学の基礎を理解する。 多変量解析の概要について学び、基礎的な解析手法を習得することを目標とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	経営科学における基礎科目となる統計学の基礎を理解し、演習問題を解くことができる。		経営科学における基礎科目となる統計学の基礎を理解し、演習問題を説明を聞きながら解くことができる。		経営科学における基礎科目となる統計学の基礎を理解し、演習問題を解くことができない。		
評価項目2	多変量解析の概要を理解し、分析手法を事例を挙げて説明できる。		多変量解析の概要を理解し、分析手法を事例を挙げてやや不十分なながらも説明できる。		多変量解析の概要を理解し、分析手法を事例を挙げて説明することができない。		
評価項目3	多変量解析の基礎的な分析手法を用いて簡単な演習問題を解くことができる。		多変量解析の基礎的な分析手法を用いて簡単な演習問題を説明に従って解くことができる。		多変量解析の基礎的な分析手法を用いて簡単な演習問題を解くことが出来ない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	経営科学における基礎科目となる統計学の基礎を学習する。 過去の実績を時系列分析する各種の需要予測手法、在庫管理、品質管理と信頼性の基礎概念について学ぶ。 多変量解析の基礎について理解する。						
授業の進め方・方法	講義と演習						
注意点	評価が60点に満たないものは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者は、その評価を60点とする。評価方法および評価基準は本試験と同じとする。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション			シラバスの内容について説明する	
		2週	代表値			集団の特徴を代表値でとらえる	
		3週	分布と標準偏差			集団の特徴を分布でとらえる	
		4週	基準値と偏差値			集団の中における個々のデータの位置をとらえる	
		5週	個体間の距離 (1)			ユークリッド距離の概念について説明できる。	
		6週	個体間の距離 (2)			マハラノビスの汎距離の概念について説明できる。	
		7週	相関分析			相関分析により2変数間の関係を調べる	
		8週	多変量解析			多変量解析の概念について説明できる。	
	4thQ	9週	重回帰分析 (1)			重回帰分析の概念について説明できる。	
		10週	重回帰分析 (2)			変数クラスター分析について説明できる。	
		11週	判別分析 (1)			判別分析の概念について説明できる。	
		12週	判別分析 (2)			判別分析演習	
		13週	主成分分析 (1)			主成分分析の概念について説明できる。	
		14週	主成分分析 (2)			主成分分析演習	
		15週	期末試験			これまでに学んだ内容について試験を行う	
		16週	成績確認			期末試験の成績確認	
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	0	30	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0